

川西市の今後の公共施設について 皆様のご意見をお聞かせください

日頃より、川西市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市においては公共施設等の老朽化が進んでおり、急速に進行する人口減少・少子高齢化や財政状況等を踏まえながら、長期的な視点をもって計画的に施設の更新（建替え）や統合・廃止等を進めていく必要があります。

そのような背景から、市民サービスの維持を図るため、公共施設等の適正な配置や効果的・効率的な管理運営の方向性を示すべく、平成 28（2016）年 11 月に「川西市公共施設等総合管理計画」を策定いたしました。

このたび、「川西市公共施設等総合管理計画」を改定するにあたり、市民の皆様からのご意見をお聞きするため、アンケート調査を実施することといたしました。

本調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 6 年 7 月 川西市長

越田 謙治郎

- 調査対象は、16 歳以上の市民および施設利用者です。
- この調査票に記入された内容を調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- 当てはまる項目の番号を○で囲むか、指定された方法によってご回答をお願いいたします。
- 各施設の説明につきましては、市ホームページ（トップページ→市役所・施設案内）にも掲載しておりますので、必要に応じて参照してください。
- 調査票は、**令和 6 年 8 月 5 日（月）まで**に施設に備え付けの回収箱へ投入する、または施設マネジメント課に持参・郵送にて回答してください。

【インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます】



- 左の QR コードから回答フォームにアクセスできます。
- インターネットで回答された方は、紙での回答は不要です。
- インターネットからの回答にご協力ください。

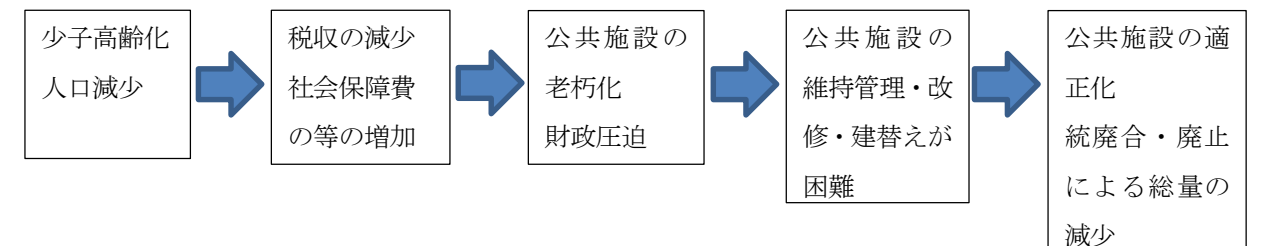
【本調査についてのお問い合わせ先】

川西市施設マネジメント課（市役所 5 階 2 番）

TEL072-740-3737 <直通>

I 本市の公共施設を取り巻く状況

川西市の人口は令和 4 年（2022 年）～令和 42 年（2060 年）までに約 34,000 人減少する見込みであり、それに伴って、税収が減少する一方、高齢化による社会保障費等の増加が見込まれ、厳しい財政状況が予測されます。また、公共施設等の老朽化が進んでおり、今ある施設を同じ規模のまま改修・建替えしようとする膨大な費用が必要となってきます。これからも市民サービスを維持していくためには、改修・更新費用を抑える必要があり、そのためには、公共施設等の適正な配置や統合、廃止などによる公共施設等の総量の減少を進めていく必要があります。

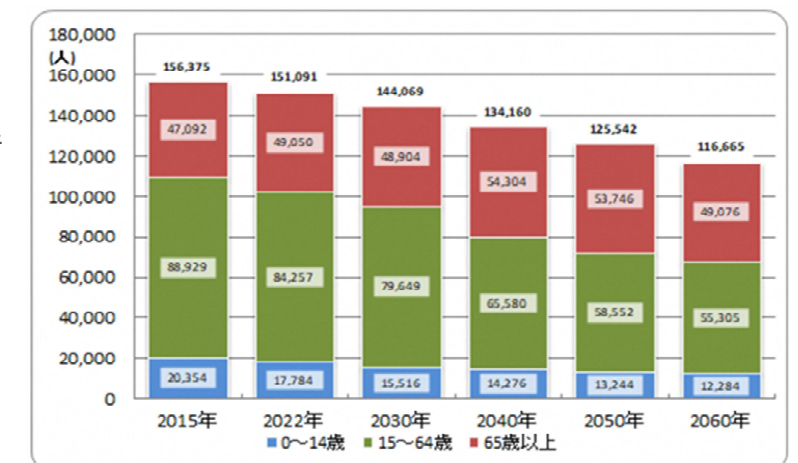


市の人口について

川西市の人口は平成 27 年（2015 年）～令和 42 年（2060 年）までに約 25.4%減少する見込みになっています。

■本市の人口推計値
基準人口: 令和 4 年（2022 年）10 月 1 日
基準年次: 平成 27 年（2015 年）～令和 2 年（2020 年）国勢調査
算出方法: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（2018 年推計）に準拠

【出典】市人口推計報告書（令和 4 年（2022 年））

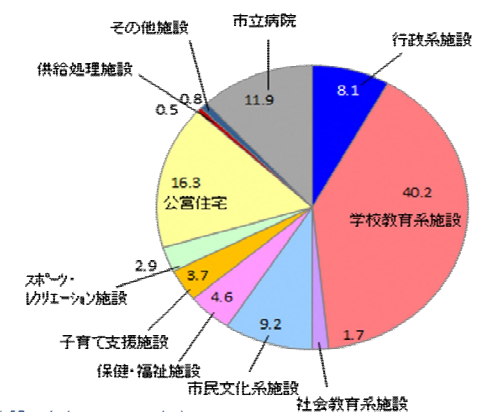


公共施設保有量について

川西市の公共施設の総延床面積は令和 4 年度末現在で約 429,533 m²です。

施設区分ごとの割合で見ますと、学校教育系施設が約 40%を占めています。

施設区分	施設数	延床面積 (㎡)	構成比 (%)
行政系施設	36	34,758.38	8.1
学校教育系施設	26	172,837.59	40.2
社会教育系施設	6	7,135.08	1.7
市民文化系施設	66	39,664.58	9.2
保健・福祉施設	15	20,033.19	4.6
子育て支援施設	23	15,923.72	3.7
スポーツ・レクリエーション系施設	19	12,338.95	2.9
公営住宅	16	70,023.65	16.3
供給処理施設	2	2,166.98	0.5
その他	36	3,491.94	0.8
市立病院	2	51,159.24	11.9
合 計	247	429,533.30	100.0



※行政系施設の内、公民館に併設されている行政センター8施設については、市民文化系施設にカウントしています。

※これよりアンケートです。ご協力お願いします。

Ⅱ 今後の公共施設のあり方などについてお聞きます

問1 今後、各施設の方向性はどのようにすべきだと思いますか。

川西市各施設の方向性や建替えなどの費用負担を減らす方法についてあなたの考え方に最も近いもの1つを選択し、番号に○を付けてください。

A 行政系施設（市役所、行政センター）

現在、市内に9か所の行政センター（公民館併設を含む）があり、市役所以外の場所でも住民票等の証明書発行や税金の収納などを行っています。マイナンバーカードによるコンビニでの証明書交付や税金のキャッシュレス決済が浸透してきており、今後も行政手続きのオンライン化が進むと見込まれます。

1. マイナンバーカードによる手続き（コンビニ交付等）の充実に伴って、施設を廃止する
2. 利用者が少ない施設は代替りの施設やサービスがあれば縮小を検討する
3. 他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

B 子育て・学校教育系施設（就学前施設、小・中学校）

就学前施設（幼稚園、保育所）は、子どもの実態に合わせて幼保一体化（認定こども園への移行）を進めてきましたが、小・中学校については、児童生徒数が多かった当時の施設規模から大きく変わらないまま現在に至っています。少子化の実態や更なる進行も見据え、今後の学校施設の数や規模について検討する必要があります。

1. すでに、子どもの数がピーク時と比べて半減しているので、廃止または統合を進める
2. 今後の子どもの数に応じて廃止または統合を検討する
3. 他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

C 社会教育系施設（文化財資料館、中央図書館、郷土館、歴史民俗資料館）

施設の維持管理に経費が掛かる一方で利用者数が多い施設もあります。施設の目的や役割を考慮しつつ、今後のあり方を検討する必要があります。

1. 利用者が少ない施設や、利用者が偏っている施設は廃止または統合する
2. 川西市の施設を減らし、周辺の市・町や県の施設を利用する
3. 利用料金の増加または他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

D 市民文化系施設（公民館、アステ市民プラザ、みつなかホール、パレットかわにし、コミュニティセンター、自治会館、共同利用施設）

施設の維持管理に経費が掛かる一方で利用者数が多い施設もあります。施設の目的や役割を考慮しつつ、今後のあり方を検討する必要があります。

1. 利用者が少ない施設や、利用者が偏っている施設は廃止または統合する
2. 統合または各機能を1か所に集めることを検討する
3. 利用料金の増加または他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

E 保健・福祉系施設（保健センター、総合センター、ひまわり荘、心身障害者総合福祉センター、養護老人ホーム満寿荘、久代児童センター）

施設が老朽化しているので、大規模な改修が必要な施設が存在します。民間サービスへの移行も含め、今後のあり方を検討する必要があります。

1. 利用者が少ない施設や、利用者が偏っている施設は廃止または統合する
2. 各機能を1か所に集めるまたは民間サービスへの移行を検討する
3. 他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

F スポーツ・レクリエーション系施設（総合体育館・市民体育館、市民温水プール、市民運動場・東久代運動公園、知明湖キャンプ場）

施設や設備の維持管理に経費が掛かる一方で利用者数が多い施設もあります。また、施設が老朽化し、大規模な改修工事が必要な施設が存在します。利用実態や今後の見通しを踏まえ施設のあり方を検討する必要があります。

1. 利用者が少ない施設や、利用者が偏っている施設は廃止または統合する
2. 川西市の施設を減らし、周辺の市・町や県の施設を利用する
3. 利用料金の増加または他の市民サービスが低下してでも、今の施設数・面積を維持する
4. その他（ ）

